

CASBEE®新潟 | 評価結果 |



■使用評価マニュアル: CASBEE新潟マニュアルv.4.0、CASBEE-建築(新築)2016年版
 ■使用評価ソフト: CASBEE新潟v.4.0.2

1. 建物概要												
建物名称 建設地 用途地域 建物用途 竣工年 敷地面積 建築面積 延床面積 階数 構造 評価の段階 評価の実施日	ウオロク関屋店 新潟県新潟市中央区関屋字風砂除2-97.2-98 第1種住居地域 物販店, 2020年5月 予定 7,570.76 m ² 2,304.84 m ² 2,223.80 m ² 地上1F S造 実施設計段階評価 2019年9月27日											
2. CASBEE新潟の評価結果												
		B+	$BEE = \frac{Q \text{ 建築物の環境品質}}{L \text{ 建築物の環境負荷低減性}} = \frac{51.3}{49.3} = 1.0$									
S: ★★★★★ A: ★★★★☆ B+: ★★★☆☆ B: ★★☆☆☆ C: ★☆☆☆☆												
3. 新潟市の重点項目の評価												
1. 長寿化の取組み 建築物を長く、安心・安全に使い続けるために	平均スコア 3.5		<table border="1"> <tr><td>バリアフリー計画</td><td>Q2.1.1.3</td><td>3.0</td></tr> <tr><td>維持管理</td><td>Q2.1.3</td><td>4.0</td></tr> <tr><td>設備の更新性</td><td>Q2.3.3</td><td>3.6</td></tr> </table>	バリアフリー計画	Q2.1.1.3	3.0	維持管理	Q2.1.3	4.0	設備の更新性	Q2.3.3	3.6
バリアフリー計画	Q2.1.1.3	3.0										
維持管理	Q2.1.3	4.0										
設備の更新性	Q2.3.3	3.6										
2. 地震への取組み かけがえのない人命、財産を守るために	平均スコア 3.0		<table border="1"> <tr><td>耐震・免震・制震・制振</td><td>Q2.2.1</td><td>3.0</td></tr> <tr><td>信頼性</td><td>Q2.2.4</td><td>3.0</td></tr> </table>	耐震・免震・制震・制振	Q2.2.1	3.0	信頼性	Q2.2.4	3.0			
耐震・免震・制震・制振	Q2.2.1	3.0										
信頼性	Q2.2.4	3.0										
3. 大雨への取組み 大雨に強いまちづくりのために	平均スコア 3.0		<table border="1"> <tr><td>雨水排水負荷低減</td><td>LR3.2.3.1</td><td>3.0</td></tr> </table>	雨水排水負荷低減	LR3.2.3.1	3.0						
雨水排水負荷低減	LR3.2.3.1	3.0										
4. 自然エネルギー利用の取組み 地球温暖化対策のために	平均スコア 3.0		<table border="1"> <tr><td>建物外皮の熱負荷抑制</td><td>LR1.1</td><td>3.0</td></tr> <tr><td>自然エネルギー利用</td><td>LR1.2</td><td>3.0</td></tr> </table>	建物外皮の熱負荷抑制	LR1.1	3.0	自然エネルギー利用	LR1.2	3.0			
建物外皮の熱負荷抑制	LR1.1	3.0										
自然エネルギー利用	LR1.2	3.0										
5. 資源循環の取組み 持続可能な循環型社会づくりのために	平均スコア 3.3		<table border="1"> <tr><td>節水</td><td>LR2.1.1</td><td>4.0</td></tr> <tr><td>躯体材料以外でのリサイクル材の使用</td><td>LR2.2.4</td><td>1.0</td></tr> <tr><td>部材の再利用可能性向上への取組み</td><td>LR2.2.6</td><td>5.0</td></tr> </table>	節水	LR2.1.1	4.0	躯体材料以外でのリサイクル材の使用	LR2.2.4	1.0	部材の再利用可能性向上への取組み	LR2.2.6	5.0
節水	LR2.1.1	4.0										
躯体材料以外でのリサイクル材の使用	LR2.2.4	1.0										
部材の再利用可能性向上への取組み	LR2.2.6	5.0										
6. 水と緑を活かす取組み 豊かな自然環境を次世代に引き継ぐために	平均スコア 1.5		<table border="1"> <tr><td>生物環境の保全と創出</td><td>Q3.1</td><td>1.0</td></tr> <tr><td>敷地内温熱環境の向上</td><td>Q3.3.2</td><td>2.0</td></tr> </table>	生物環境の保全と創出	Q3.1	1.0	敷地内温熱環境の向上	Q3.3.2	2.0			
生物環境の保全と創出	Q3.1	1.0										
敷地内温熱環境の向上	Q3.3.2	2.0										
7. 新潟のまちなみへの取組み 地域の個性や魅力を活かしたまちづくりのために	平均スコア 3.0		<table border="1"> <tr><td>まちなみ・景観への配慮</td><td>Q3.2</td><td>3.0</td></tr> <tr><td>地域性への配慮、快適性の向上</td><td>Q3.3.1</td><td>3.0</td></tr> </table>	まちなみ・景観への配慮	Q3.2	3.0	地域性への配慮、快適性の向上	Q3.3.1	3.0			
まちなみ・景観への配慮	Q3.2	3.0										
地域性への配慮、快適性の向上	Q3.3.1	3.0										
4. 新潟市の重点項目の配慮事項												
本計画では、店舗内の床の段差をなくしたり、通路幅を広めに確保するなどバリアフリーについて配慮を行っています。 また、照明は全てLEDを採用し、そのほかの機器についても省エネ機器を導入し省エネルギーにも配慮を行っています。												

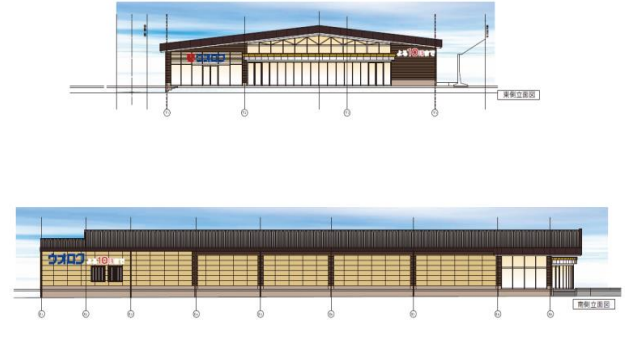
■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)

CASBEE[®]新潟

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE新潟マニュアルv.4.0、CASBEE-建築(新築)2016年版 | 使用評価ソフト: CASBEE新潟v.4.0.2

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	ウオロク関屋店	階数	地上1F
建設地	新潟県新潟市中央区関屋字風砂除2-97.2-98	構造	S造
用途地域	第1種住居地域	平均居住人員	0人
地域区分	5地域	年間使用時間	5,500時間/年(想定値)
建物用途	物販店	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2020年5月 予定	評価の実施日	2019年9月27日
敷地面積	7,571 m ²	作成者	(有)商業施設マネジメント
建築面積	2,305 m ²	確認日	2019年9月27日
延床面積	2,224 m ²	確認者	



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.0 ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★★★★★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

★☆☆☆☆ 30% ☆☆☆☆☆ 60% ☆☆☆☆☆ 80% ☆☆☆☆☆ 100% ☆☆☆☆☆ 100%超

標準計算

①参照値	100%
②建築物の取組み	91%
③上記+②以外の	91%
④上記+	91%

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 3.0

Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.2

音環境	2.6
温熱環境	3.2
光・視環境	3.0
空気質環境	4.0

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.5

機能性	3.7
耐用性	3.0
対応性	3.8

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.2

生物環境	1.0
まちなみ	3.0
地域性	2.5

LR のスコア = 3.0

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 2.7

建物外皮の	3.0
自然エネ	3.0
設備システ	2.5
効率的	3.0

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.3

水資源	3.4
非再生材料の	3.0
汚染物質	4.3

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.0

地球温暖化	3.3
地域環境	3.1
周辺環境	2.7

3 設計上の配慮事項		その他
総合 建物の高さを抑え、周辺住宅との調和を考慮した色彩とした。騒音発生機器は、住環境を考慮してできるだけ住宅から離して設置した。		0
Q1 室内環境 来客者に対し、快適な室内環境となるよう照明計画、空調設備のゾーニング、建築基準法による換気設備等の配置に配慮した。ただし、商品の鮮度を害さないよう調整している。	Q2 サービス性能 来客者の回遊性を考慮し、通路等空間を確保するよう配慮した。(身障者を含む)	Q3 室外環境(敷地内) 夜間の駐車場照明において、住宅側に光が差し込まないように配慮した。
LR1 エネルギー 夏場の日照、冬場の風向き等を考慮し建物の配置を行い、運営に係るエネルギー全般の抑制に配慮した。	LR2 資源・マテリアル 有害物質を含まない材料の使用に注意を払った。	LR3 敷地外環境 0

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される